[redacted]

編集後記・Editorials

魚類学雑誌
40(2): 299, 1993

今号から，会員のみなさんの相互理解を深める目的で，魚類学に関係が深い施設や組織等を所属会員に紹介してもらうという企画をたててみました．その第1回目にあたるのが，伊豆海洋公園の瀬能　宏さんに執筆していただいた会員通信欄の紹介文（p. 283–286 参照）です．今回この紹介文を読ませていただき，魚類学の発展に伊豆海洋公園が果たしてきた大きな役割をあらためて実感しました．瀬能さんにはお忙しいなか，無理をいって執筆していただきました．この場を借りてお礼申し上げます．

新たな編集体制になってもう1年以上経ちました．現在，魚類学雑誌は手持ちの原稿が十分あるうえに，受理から印刷までの時間はわずか数カ月（短いものは1カ月）ときわめて健全な状態にあります．完成度の高い原稿ですと，受付から印刷まで3カ月ほどで出せます．ということは，今から投稿してもひょっとしたら年内に出版できることを意味しています．今後も会員の皆様の投稿先として魚類学雑誌を積極的にご利用ください．

論文ももちろんですが，“書評”や“図書紹介”や“会員通信”等の欄もどんどんご利用ください．魚類学雑誌は論文発表の場でもありますが，魚類に関するあらゆる情報交換の場でもあります．最近，論文のセクションはレベルが高くなりすぎてついていけない，どうにかならないか，との意見も耳にします．前にもこの欄で書きましたように編集委員会では現在，会員の皆様の幅広いニーズに応えるべく幾つかの案を練っています．どうぞご期待ください．

(MM)

訂　　正・Erratum

魚類学雑誌
40(2): 299, 1993

魚類学雑誌第40巻1号に下記の訂正があります．

Japanese Journal of Ichthyology, 40(1), Magtoon and Arai.: page 84, 10th line in Literature Cited, insert "(8)" after the volume of the journal.